

※この予定表は、おおよその目安です。患者さんの状態等により、予定が変更になることもありますので、ご了承ください。なおわからないことがありましたら、ご遠慮なくスタッフに相談ください。

患者番号: _____ 主治医 _____ 様

	前日	術前	術後	1病日	2病日	3病日	4~7病日	8病日以後
普通の経過	手術の説明を聞き、準備をしていきます。		痛みが強ければ痛み止めを使用し、寝た状態で過ごします。	手術した方の手を動かすリハビリを始めていきます。痛みが強ければ痛み止めを使います。	リハビリが少しずつステップアップしていきます。	退院までにパンフレットで退院後の生活で気をつけてほしいことを説明します。	創のところに管が抜けた翌日に、退院となります。	
診察	麻酔科医師 ご家族の方と一緒にの診察と、説明があります。	術前 朝主治医が診察に伺います。	術後 医師による回診があります。					
処置 投薬 治療	入院後センチネルリンパ節生検(RI法)をします。 弾性ストッキングの測定をします。 経口補水療法対象の方は21時から飲んだ量を量ります。 両腕から指の太さ・肩関節の動きの計測をします	術前 脇と胸の毛を剃ります。 医師の指示に従い点滴をします。 (※経口補水療法対象の方は術前の点滴はありません。)	術後 手術室でレントゲンを撮影します。病室は回復室に変わります。酸素吸入を開始し、心電図を見させて頂きます。 パストバンドを装着します。 手術室で抗生剤を行います。帰室後に採血を行います。 脇から創の所に管が入ってきます。排液が溜まるようバックがついています。	レントゲン、採血を行います。心電図、酸素を外します。点滴は夕方まで行います。	創の所に入っている管から、出てくる血液などの量が1日30ml以下に減ったら管を抜きます。	創の所に入っている管が抜けた翌日に退院となります。	創部のテープをはがします。手術後3日目以降、希望があればパストバンドを取ることが出来ます。パストバンドを外した後は補正下着を着けることも出来ます。	管の入っていない方は、創に問題が無ければ3日目に退院となります。
説明 指導	主治医が手術の説明をします。麻酔科医師より、麻酔についての説明をします。 看護師が入院生活・手術についての説明をします。また、補正下着についての説明をします。	術前 看護師が、手術前の説明をします。	術後 主治医 医師が手術の結果について説明します。	退院までには看護師が付き添います。	退院までにリンパ浮腫予防について説明します。(看護退院前日にパンフレットを使用し、退院後の生活について説明します。(看護師)			
リハビリ	パンフレットをお渡しし、説明します。			作業療法士が手術した側の手のリハビリについてパンフレットで説明し、リハビリを始めます。パンフレットのステップ1を行います。	パンフレットのステップ2~3までを行います。		退院前日にパンフレットのステップ4を行います。	
排泄		術前	術後 尿管は手術が終了して6時間後に抜くことが出来ます。	尿管を抜きます。その後の排泄は、トイレで行えます。				
安静	制限はありません。	術前	術後 手術後6時間はベッド上安静です。初回歩行時は看護師が付き添います。	医師の廻診時、固定していた手術した側の手を動かします。その後は、手は動かさず。医師の廻診後は積極的に体を動かしましょう。	制限はありません。			
食事	夕食までは普通の食事が出来ます。21時以降食べることは出来ません。飲水については看護師より説明いたします。	手術予定の4時間前までは必要量の飲水をお願いします。	術後6時間 手術後6時間より、水が飲めます。希望により夕食を食べることが出来ます。	朝から、手術前と同じ食事が出来ます。				
保清	入浴できます。	毛を剃った後、入浴します。歯磨き・洗面を行って下さい。(化粧を落として下さい)		朝の洗面は介助します。看護師の介助で体を拭いて、着替えます。シャワー浴ができます。	体拭き、洗髪、シャワー浴ができます。看護師に声をかけてください。			